

平成 30 年度 第 2 回介護・医療連携会議 議事録

◆開催日時：平成 31 年 3 月 20 日(水)

◆開催場所：特別養護老人ホームあかね 地域交流スペース

◆出席者：

あかね在宅ケアステーション

管理者 兼 計画作成責任者 米澤

オペレータ 兼 訪問介護員 萩森

高松市健康福祉局長寿福祉部介護保険課

相談指導係

作花様

ウエルネス香川

長尾様 藤本様 宮本様

居宅介護支援事業所栗林

家常様

居宅介護支援センターYuu

河井様

はなぶさ居宅介護支援事業所

原田様

アリスケアプランセンター番町

田中様

あかねケアプランセンター

福家様

訪問看護ステーションQちゃん

中村様

訪問看護ステーション共生

橋本様

◆議事

1. サービス利用状況報告
2. サービス提供例の紹介
3. 今後の課題と事業展開について
4. 質疑応答

◆内容

議事 1. サービス利用状況報告（資料 1）

前回介護医療連携会議を開催した H30 年 9 月と、H31 年 3 月現在の比較

利用人数（男女別）…前は圧倒的に女性が多かったが、現在は男女比が半々。

利用人数（介護度別）…前は要介護 1 が多かったが、現在は、要介護 4 や
要介護 5 の利用が増えてきている。

退院直後の短期間利用等も増えている。

利用事業所数…居宅介護支援事業所の数は減っているが、同じ事業所の中でも、
複数の CM からご依頼いただく案件が増えている。

訪問看護事業所は順調に連携先が増えている。

議事 2. サービス提供例の紹介

- ① 定巡（包括報酬）＋訪問看護 月 1 でのアセスメント例
- ② 定巡（包括報酬）＋訪問看護 介護保険包括報酬での定期訪問例
- ③ 定巡（包括報酬）＋訪問看護 医療保険での訪問例
- ④ 定巡の短期利用訪問例

議事 3. 今後の課題と事業展開について

- ① 職員同士のリアルな情報共有への対策

職員同士での情報共有が、スマケアだけでは限界がある。

情報共有ツールの導入。

チャットのようなアプリで、既読者、未読者が分かる。

業務の中で、既読者が分かると、その後の業務調整が格段にスムーズになった。

- ② サービス地域の見直し

現在、限定している地域よりも東の地域のニーズが増えている。

職員の負担を考えつつ、サービス地域を広げる予定。

- ③ 定期巡回認知度の向上

前回は課題に挙がっていたが、まだ認知度を上げるための取り組みができていない。

チラシの中にもさまざまなニーズに合わせた情報を入れていきたい。

HP にも情報を載せていきたい。

- ④ 定巡と訪問介護との連携

都市部で事例がある、「チーム型定期巡回」の検討。

サービスエリアや、職員配置等の現状もあり、今の所、実現は先と感じている。

議事 4. 質疑応答

Q: 訪看が介護保険の包括報酬で訪問に入っている場合、緊急時に対応する事になるが、現状、緊急時対応は多いのか？

A: 今の所、ほとんどない。介護現場で対応できるケースがほとんど。

Q: 要介護 1 で定期巡回訪問看護を介護保険、包括報酬の場合、点数的にデイサービスに入る事は可能か？

A: デイサービス週 2～3 回程度は利用が可能。(福祉用具の使用状況による)

Q: 訪問介護のイメージが強く、定巡の良さがなかなか伝わらず、利用に繋がらない方も多いと思う。どのように、定巡に結び付けているのか？

A: ケアマネからの発信が一番多い。

実際、訪問介護、なじみのヘルパーへのこだわりが強い利用者が多い。その中でも、定巡のメリットを生かした方がいる利用者様もいるが、シフトするのがとても難しい。都度、説明しながら、利用者様に理解していただくようにしている。

Q: 訪問介護との併用は？

A: 介護保険サービスの併用はできない。

都市部では定巡と訪問介護とが連携(委託契約)を結び、「チーム型定期巡回」として、広範囲のサービスを可能にしている例もある。あかねで検討したい事例もあるが、今の所、実現には至っていない。

Q: 調理のサービスはできないのか？

A: 現状は本当に簡単な調理のみ。電子レンジで温める程度である。

Q: 食事介助で時間のかかる人はどうしているのか？例えば食介で 30 分かかるとは？

A: 3 食全部時間をかける事は難しいが、まずは 1 食だけでもしっかり摂取してもらう為の時間を取り、その他は、こまめな訪問で、少しずつ摂取してもらうようにしている。

議事 5. 意見交換

- ・ある利用者様は、ヘルパーの時は実費がかかっていたが、定巡に変わり、実費もかからずサービス提供を丁寧に行ってくれている。利用者、家族ともとても喜んでくれている。緊急時の対応も効果的にできている。大変ありがたいサービスだと思う。
- ・あかね在宅ケアステーションの事業所は中心部にあり、高齢者も多いが家族は別居、という方が多々おられる。サービスを悩んでいる方はとても多い。介護士の負担はあるだろうが、是非とも頑張ってもらいたい。
- ・身体介護のイメージが多い。生活援助でも入ってもらえることが分かり、利用の幅が増えた。今後もニーズがあればぜひお願いしたいと思っている。

以上

※サービス利用状況報告※

